

# 『先生は見てて』 4歳児 12月 伏見こども園

## 子どもの姿

「先生、『ジャングルぐるぐる』やりたいねん」と、Aくんがチャレンジタイムの体操の曲をかけてほしいと保育者に知らせに来ました。「みんなで音楽をかける準備をしよう」と言うと、一緒にやりたい子どもが数人集まっていました。

Aくんは「『ジャングルぐるぐる』やったらみんなができるやろ。だからやりたいねん」と、と保育者に伝えます。Bちゃんは「私たちね、先生を見なくても自分たちができるようになったよ。だから、先生はしないで見て」と言い、友達に「私、先生になる」と伝えるました。「私も」と嬉しそうに二人でみんなの前に立って体操を始めました。いつの間にかクラスのほとんどの子ども達が集まってきて、音楽に合わせて体操したり、「ハイ!ハイ!ハイハイハイ」の掛け声を合わせたりして楽しんでいました。

## この場面での子どもの育ちや学び

『ジャングルぐるぐる』やったらみんなができるやろ。 (予想) (望み)



自分たちができるよ。先生は見てて。  
(やってみたいという意欲) (できるという自信)



ハイ!ハイ!ハイハイハイ!  
(一体感) (ワクワクしてくる) (もっと)

・きっと、この曲が始まると友達も楽しこと同じ思いで一緒に体操できるだろうと予想する。  
・みんなで体操したいという望み。

・保育者がいなくても自分たちができる、やってみたいと自ら意欲的に行動する。

・声を合わせた時の一体感に心地良さを感じる。

## 保育者の思い

・Aくんが『ジャングルぐるぐる』なら、友達も一緒にできるはずと考えたり、自分と同じ思いでできるだろうと予想したりして始めたことが、その通りになっていきました。その中で一人一人が自信をもって体を動かし、心から楽しんでいることが伝わって、特に、掛け声を合わせようとしているところに子ども達のワクワク感や一体感を感じ、感動しました。

・Bちゃんの「先生は見てて」という声に、頼もしさを感じました。自分たちで考え、実現してきた経験が自信となり、この表現となったのではないかと嬉しくなりました。

・チャレンジタイムの前に、「今日はどんなことにチャレンジしようかな」と話しています。「縄跳びで5回跳ぶ」「走るの100回頑張る」など、昨日より今日の方がたくさん跳んだり走ったりしたいと意欲的な子ども達の発言が多いです。友達の発言を聞いたり、一緒に体操し掛け声を合わせたりする経験も、楽しいと感じながら意欲的にチャレンジしようとする姿に繋がっているのではないかと感じました。

## 家庭だったら..

自分の思いが実現したり、経験が積み重なっていったりすることは、子どもの自信に繋がってきます。子どものやってみたいという言葉を聞いて、思いを受け止めてくれたり、背中を押してくれたり、もし上手くいかなくとも支えてくれたりする大人がそばにいてくれることで、子どもたちはチャレンジしたり実現しようとします。子ども達の意欲的な姿を応援したいですね。